

# まち歩き説明シート

高架下等外周区域  
(検討たたき台では、緑道・緑地系)



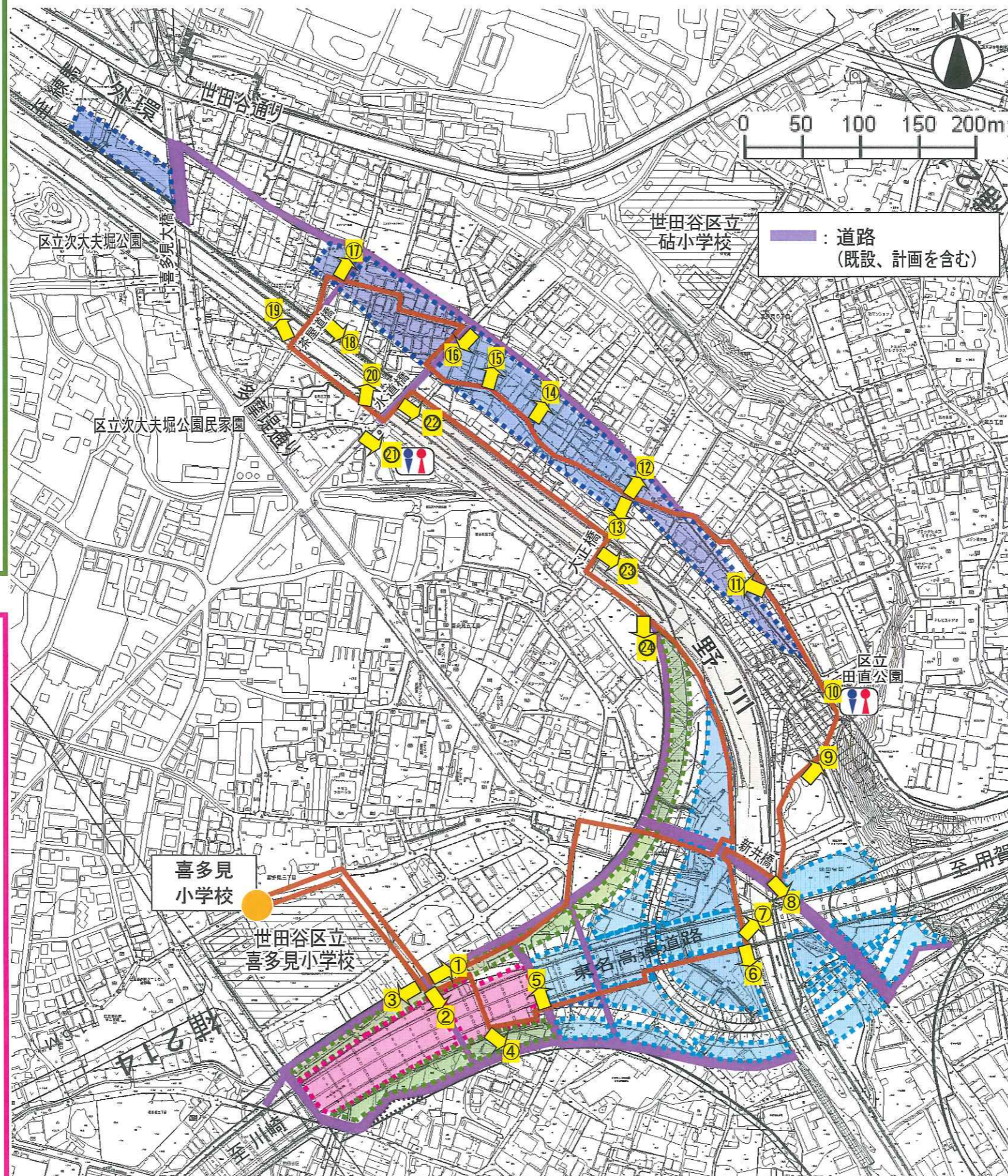
野川沿い区域  
(検討たたき台では、公園・緑地・運動施設系、福祉施設系)



東名高架下区域  
(検討たたき台では、学校施設系、ものづくり施設系)



暫定利用区域



㊤喜多見大橋より南東



㊦茶屋道橋より北西



㊧水道橋より南東



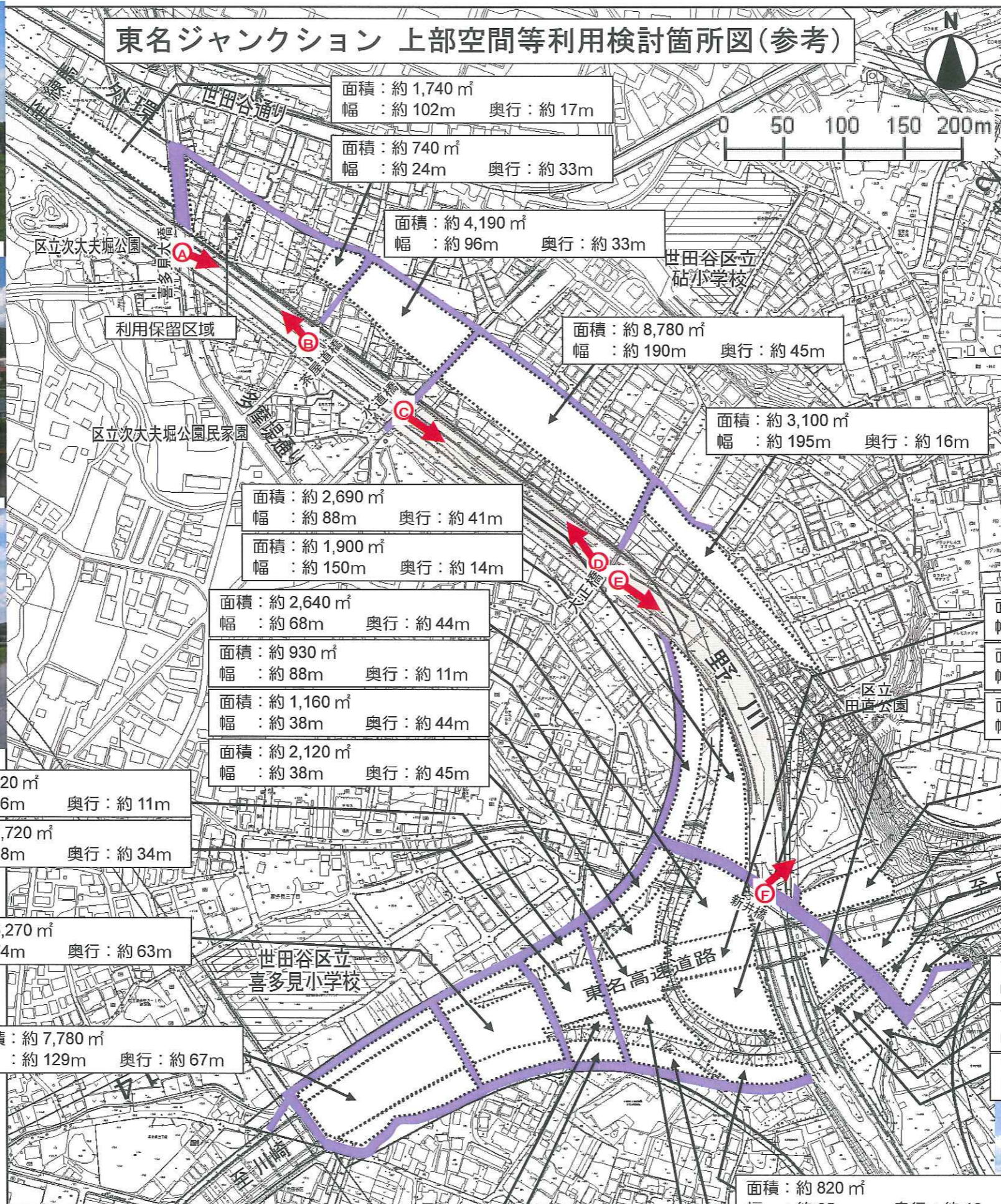
㊨大正橋より北西



㊩大正橋より南東



# 東名ジャンクション 上部空間等利用検討箇所図(参考)



面積：約 1,740 m<sup>2</sup>  
幅：約 102m 奥行：約 17m

面積：約 740 m<sup>2</sup>  
幅：約 24m 奥行：約 33m

面積：約 4,190 m<sup>2</sup>  
幅：約 96m 奥行：約 33m

面積：約 8,780 m<sup>2</sup>  
幅：約 190m 奥行：約 45m

面積：約 3,100 m<sup>2</sup>  
幅：約 195m 奥行：約 16m

面積：約 2,690 m<sup>2</sup>  
幅：約 88m 奥行：約 41m

面積：約 1,900 m<sup>2</sup>  
幅：約 150m 奥行：約 14m

面積：約 2,640 m<sup>2</sup>  
幅：約 68m 奥行：約 44m

面積：約 930 m<sup>2</sup>  
幅：約 88m 奥行：約 11m

面積：約 1,160 m<sup>2</sup>  
幅：約 38m 奥行：約 44m

面積：約 2,120 m<sup>2</sup>  
幅：約 38m 奥行：約 45m

面積：約 1,910 m<sup>2</sup>  
幅：約 65m 奥行：約 28m

面積：約 2,820 m<sup>2</sup>  
幅：約 65m 奥行：約 52m

面積：約 920 m<sup>2</sup>  
幅：約 25m 奥行：約 29m

面積：約 1,780 m<sup>2</sup>  
幅：約 66m 奥行：約 22m

面積：約 850 m<sup>2</sup>  
幅：約 45m 奥行：約 18m

面積：約 50 m<sup>2</sup>  
幅：約 15m 奥行：約 7m

面積：約 900 m<sup>2</sup>  
幅：約 55m 奥行：約 13m

面積：約 520 m<sup>2</sup>  
幅：約 46m 奥行：約 11m

面積：約 1,720 m<sup>2</sup>  
幅：約 38m 奥行：約 34m

面積：約 5,270 m<sup>2</sup>  
幅：約 74m 奥行：約 63m

面積：約 7,780 m<sup>2</sup>  
幅：約 129m 奥行：約 67m

面積：約 890 m<sup>2</sup>  
幅：約 48m 奥行：約 18m

面積：約 410 m<sup>2</sup>  
幅：約 44m 奥行：約 10m

面積：約 200 m<sup>2</sup>  
幅：約 38m 奥行：約 6m

面積：約 110 m<sup>2</sup>  
幅：約 28m 奥行：約 10m

面積：約 480 m<sup>2</sup>  
幅：約 35m 奥行：約 12m

面積：約 820 m<sup>2</sup>  
幅：約 65m 奥行：約 10m

面積：約 620 m<sup>2</sup>  
幅：約 62m 奥行：約 9m

面積：約 1,160 m<sup>2</sup>  
幅：約 59m 奥行：約 20m

※ 面積は、図上計測によるおおよその数値です。

※ 幅・奥行は、代表的な参考の数値で、幅×奥行=面積ではありません。

㊪新井橋より北東



① 東名高速北側です。この位置から東名高速側に、機能補償道路と、上部空間の利用可能区域ができます。



① この位置から東名高速側に、機能補償道路と、上部空間の利用可能区域ができます。



② 喜多見小学校の東側からまっすぐに通り抜けできる機能補償道路が整備されます。防災倉庫は移設することになります。



② 東名高速の高架下空間は、柱で区切られているため、一体的な利用には制限があります。



③ 今回検討する範囲は、この位置から東名高速沿いに西側に進んだ横断歩道(緑の印)のところまでです。



④ 東名高速南側です。機能補償道路と上部空間の利用可能区域ができます。機能補償道路の端は、おおよそ緑の印をしている辺りです。



⑤ 東名高架下を、機能補償道路が抜ける位置です。この位置から東側は、暫定利用区域です。



⑥ 野川の河川管理用通路が遊歩道として整備されています。今回検討する範囲(暫定利用区域)は、おおよそ建物の手前(緑の印)までです。



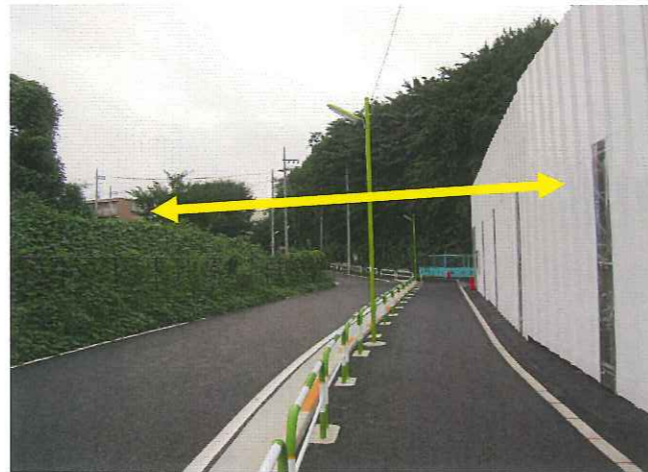
⑦ 現在、立坑の工事を進めています。この場所には換気塔などの管理施設ができる予定です。



⑧ 多摩堤通りは、現状と変わりません。  
今回検討する範囲(暫定利用区域)は、おおよそ住宅の手前(緑の印)までです。



⑨ 立坑工事現場の西側です。  
外環から東名高速(東京方面)への進入路(ランプ)が矢印方向へ横切ります。



⑨ 外環から東名高速(東京方面)への進入路(ランプ)が横切ります。



⑩ 斜面緑地を活用した田直公園です。  
ここで、トイレ休憩を行います。



⑪～⑰  
野川沿いの茶屋道橋～大正橋付近の区間です。  
今回検討する範囲は、東名高速から外環への進入路(ランプ)と、機能補償道路とで囲われた区域(紫色の区域)になります。



⑪ 図の黄色の矢印の区域が、おおよその上部空間の利用可能区域です。ガードレールより野川側(白の矢印の区域)は、外環の道路面となります。



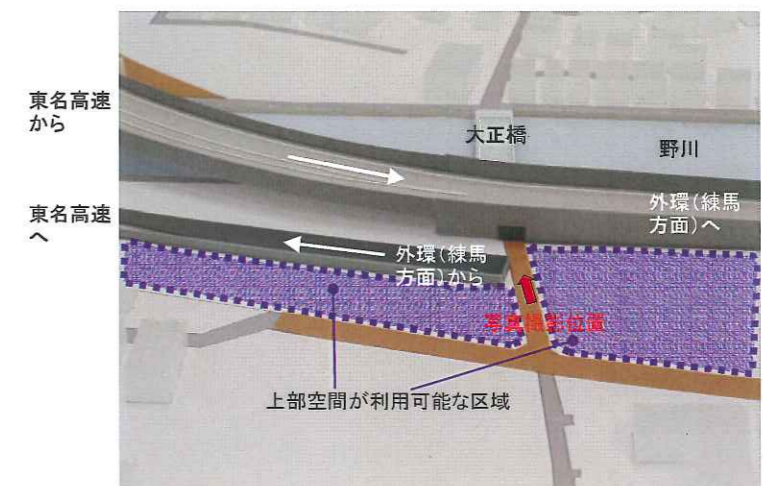
⑫ 大正橋の北側付近です。機能補償道路と上部空間の利用可能区域ができます。機能補償道路の端は、おおよそ生垣の先(緑の印)の辺りです。



⑬ 大正橋の北側付近です。東名高速から外環への進入路(ランプ)が、この辺りを横切ります。その東側(緑の印の手前側)が上部空間の利用可能区域となります。



⑬ 大正橋につながる機能補償道路の上を、東名高速から外環への進入路(ランプ)が横切ります。



⑭ 水道橋と大正橋の間の区間です。機能補償道路と上部空間の利用可能区域ができます。機能補償道路の端は、おおよそ住宅の手前(緑の印)までです。



⑮ 水道橋と大正橋の間の区間です。機能補償道路と上部空間の利用可能区域ができます。機能補償道路の端は、おおよそ人が立っている(緑の印)辺りです。



⑯ 水道橋及び茶屋道橋にそれぞれつながる機能補償道路の下を、東名高速から外環への進入路(ランプ)がくぐります。



⑰ 水道橋につながる道路(水道道路)です。おおよそこの辺りから水道橋までの区間は、機能補償道路として道路の幅を広げます。



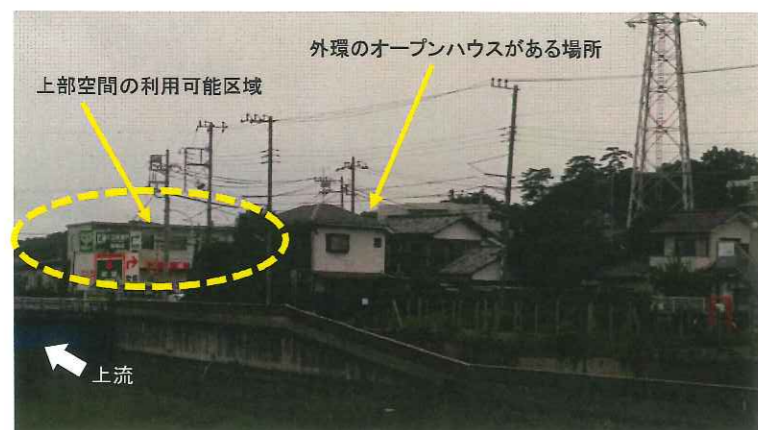
⑱ 茶屋道橋の北側付近です。機能補償道路と上部空間の利用可能区域ができます。機能補償道路の端は、おおよそ人が立っている(緑の印)辺りです。



⑲ 野川沿いにある遊歩道は河川管理用通路なので、残ります。



⑳ 喜多見大橋の西側(上流)の野川沿いも、上部空間の利用可能区域です。その横(鉄塔の対面)には、外環のオープンハウスがあります。



㉑ 野川の対岸から、外環の事業区域(茶屋道橋～水道橋の区間)を望みます。手前側に、東名から外環への進入路(ランプ)ができます。その奥側が、上部空間の利用可能区域です。



㉒ 野川を挟んで外環の事業区域と対岸にある次大夫堀公園です。ここで、トイレ休憩を行います。



②② 水道橋から、外環の事業区域(水道橋～大正橋の区間)を望みます。手前側に、東名から外環への進入路(ランプ)ができます。その奥側が、上部空間の利用可能区域です。



②③ 大正橋から野川を望みます。この先、野川右岸の遊歩道から分岐する形で、機能補償道路と上部空間の利用可能範囲ができます。



②④ 野川右岸の遊歩道から、右方向に機能補償道路が分岐する場所です。この場所より、東名高速から外環への進入路(ランプ)に沿って、機能補償道路と上部空間の利用可能区域ができます。



②④ 東名高速から外環への進入路(ランプ)に沿って、機能補償道路と上部空間の利用可能区域ができます。

